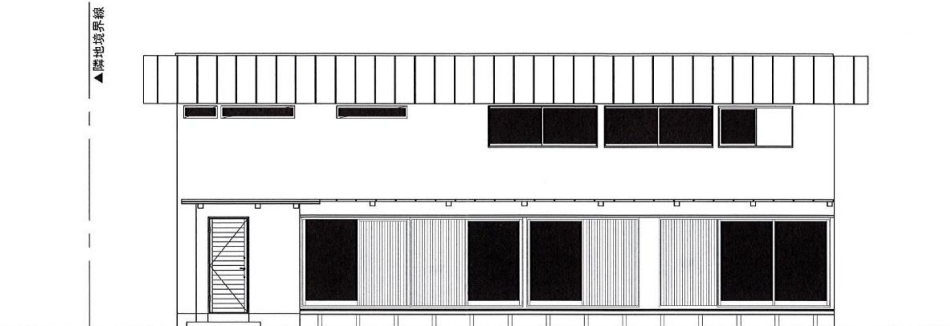
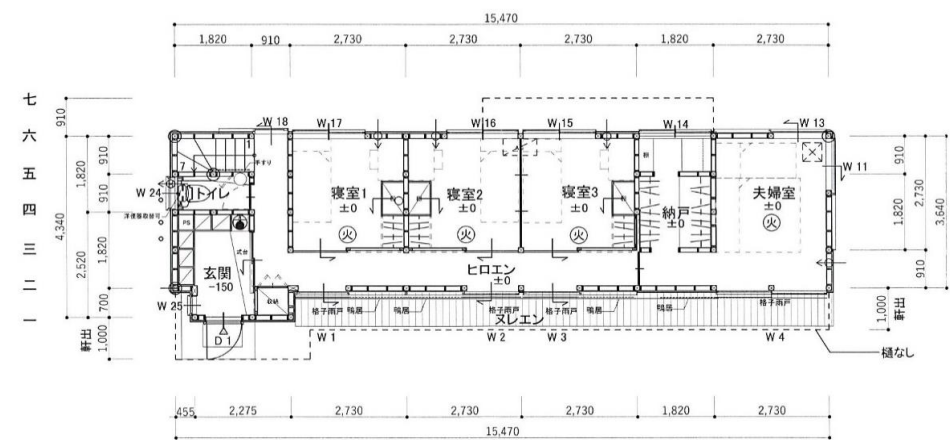
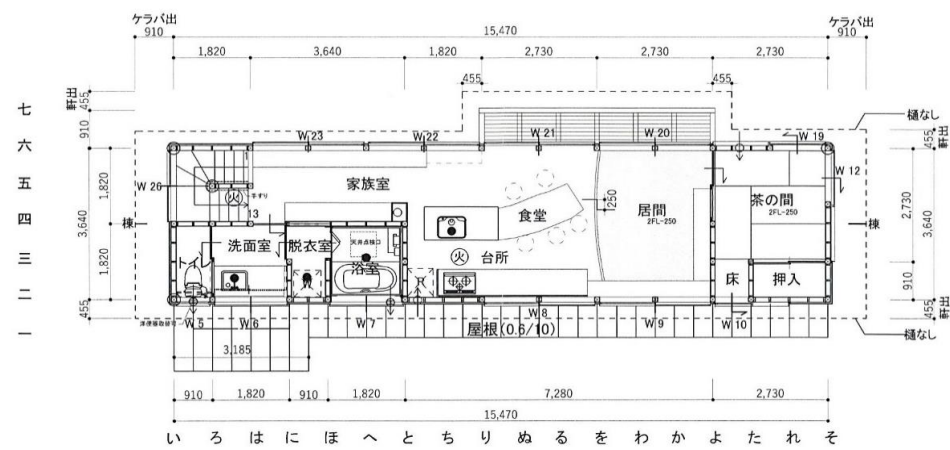
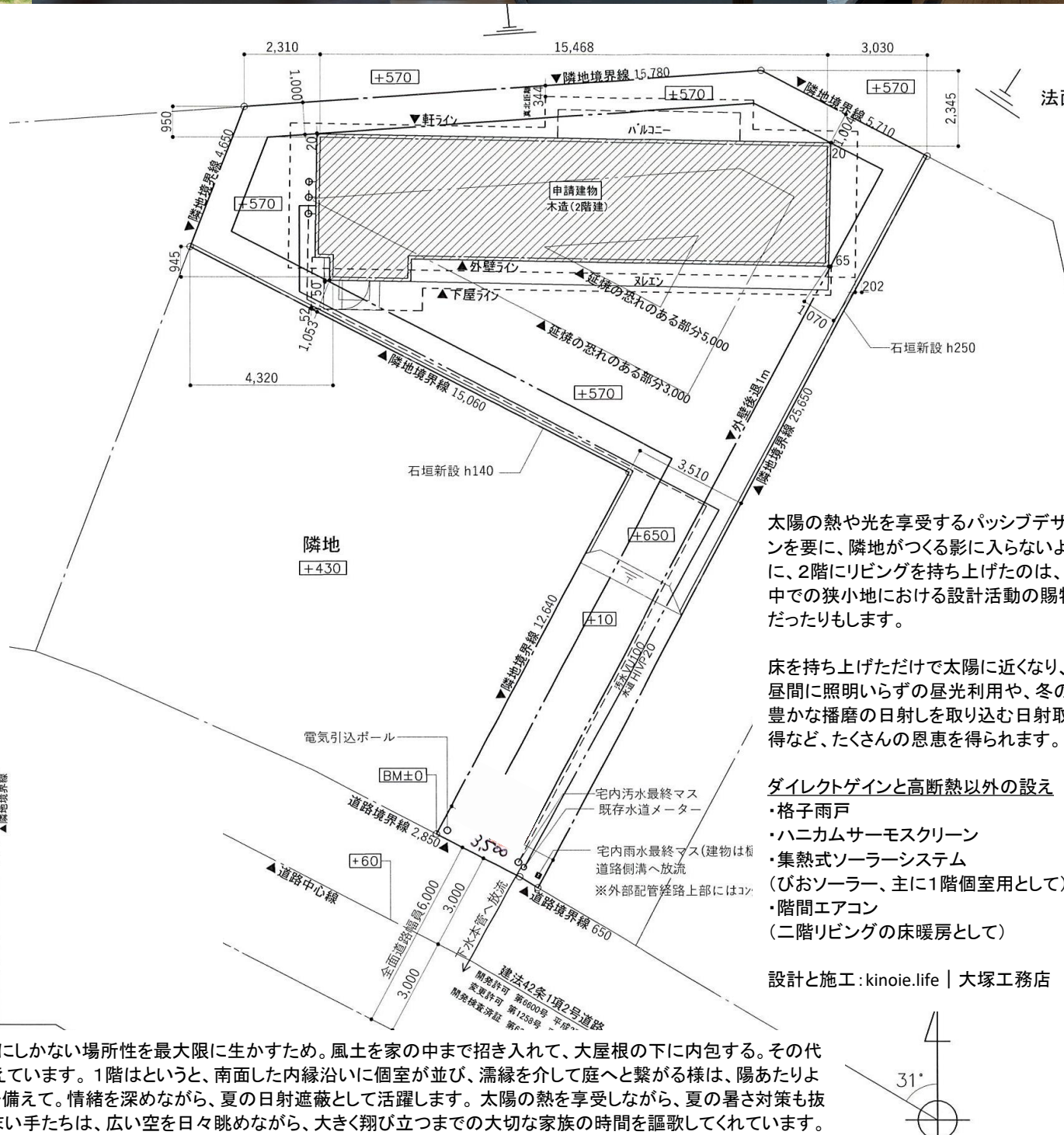




リビングを持ち上げた理由は、景色を楽しむことだけではなく、南側隣地の建物のあり方によって、日当たりが悪くなることを避けるため。南側道路から奥まった旗竿敷地が悪さをしないように、建物を北側に寄せて、奥行きが浅く、間口が広い総二階の建築に。



大借景を取り込むために、敢えて北側に大きな窓を取り、ある意味で型破りをしているのは、ここにしかない場所性を最大限に生かすため。風土を家の中まで招き入れて、大屋根の下に内包する。その代わりに、すべての窓にハニカムサーモスクリーンと呼ばれる断熱カーテンを設けて冬の寒さに備えています。1階はというと、南面した内縁沿いに個室が並び、滯縁を介して庭へと繋がる様は、陽あたりよく風通しよく、日本家屋のあらまほしき姿です。冬の日射取得を果たす大きな窓には、格子雨戸を備えて。情緒を深めながら、夏の日射遮蔽として活躍します。太陽の熱を享受しながら、夏の暑さ対策も抜かりなく、それでいて奥ゆかしく、性能と情緒の両立を実践しています。目下、この家の小さな住まい手たちは、広い空を日々眺めながら、大きく翔び立つまでの大切な家族の時間を謳歌してくれています。

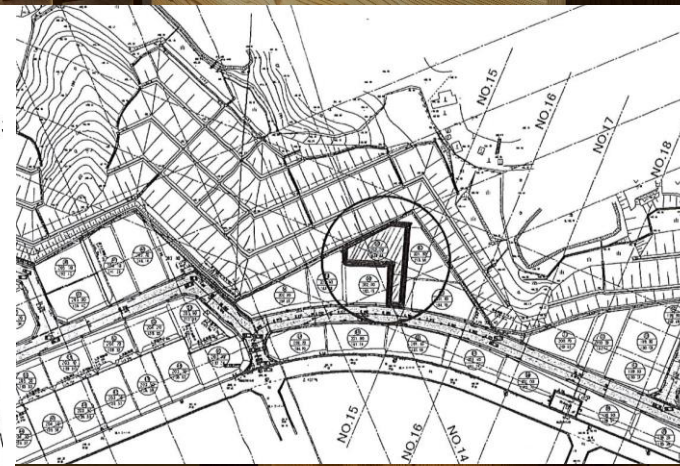
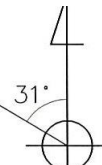


太陽の熱や光を享受するパッシブデザインを要に、隣地がつくる影に入らないように、2階にリビングを持ち上げたのは、街中での狭小地における設計活動の賜物だったりもします。

床を持ち上げただけで太陽に近くなり、昼間に照明いらずの日光利用や、冬の豊かな掃磨の日射しを取り込む日射取得など、たくさんの恩恵を得られます。

- ダイレクトゲインと高断熱以外の設え
- ・格子雨戸
 - ・ハニカムサーモスクリーン
 - ・集熱式ソーラーシステム（びおソーラー、主に1階個室用として）
 - ・階間エアコン（二階リビングの床暖房として）

設計と施工: kinoie.life | 大塚工務店



里山住宅 森暮らし